

## 会 議 録

会議の名称	豊中市地域公共交通協議会		
開催日時	令和6年(2024年)10月31日(木) 13時00分 ~ 15時00分		
開催場所	庄内コラボセンター(ショコラ)2階 会議室2及びWEB開催	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市基盤部交通政策課	傍聴者数	0人
公開しなかつた理由			
出席者	委員	猪井委員、紀伊委員、野津委員、花田委員、阿瀬委員、安田委員、 今村委員、小西委員、百地委員、釈迦戸委員、中村委員(大石氏代理)、 井本委員、遠藤委員、中垣委員、米丸委員、野田委員	
	事務局	福山次長兼交通政策課長、池永課長補佐、高鳥係長、壺阪主事、樋口	
	その他	株式会社建設技術研究所	
議題	1. 豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて 2. シェアサイクル事業の実施状況について 3. 公共交通利用促進に係る取組みについて 4. 今後のスケジュールについて		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

## 第 17 回 豊中市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和 6 年（2024 年）10 月 31 日（木） 13：00～15：00
場 所	庄内コラボセンター（ショコラ）2 階及び WEB 開催
出席者	猪井委員（WEB）、紀伊委員、野津委員、花田委員（WEB）、阿瀬委員、安田委員、今村委員、小西委員、百地委員、釈迦戸委員、中村委員（大石氏代理 WEB）、井本委員、遠藤委員、中垣委員、米丸委員、野田委員
欠席者	浜名委員、中川委員、石崎委員
事務局	都市基盤部交通政策課：福山、池永、高鳥、壺阪、樋口
傍聴者	0 人
案 件	1. 豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて 2. シェアサイクル事業の実施状況について 3. 公共交通利用促進に係る取組みについて 4. 今後のスケジュールについて
資 料	【資料 1】豊中市地域公共交通協議会 名簿 【資料 2】豊中市公共交通改善計画（素案）（案）への意見について 【資料 3】豊中市公共交通改善計画（素案） 【資料 4】シェアサイクル事業の現状について 【資料 5】公共交通利用促進に係る取組みについて 【資料 6】工程表

会 議 録 下記のとおり

### ●開会

### ●資料確認

### ●新任委員紹介

#### 事務局

新任の委員の紹介をさせていただきます。阪急タクシー労働組合 副執行委員長の今村様です。

### ●会長挨拶

#### 会長

2024 年問題などがあり、大阪府内でも多くの路線が今年にかけてもいくつかの路線が廃止、休止、減便となっています。難しい状況が一層難しくなっているため、深く考えていかななくてはなりません。豊中市の地域交通に様々な形で関わっておられる皆さんから忌憚のないご意見を賜りますよう宜しくお願いいたします。

## ●報告案件等

### 1. 豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて

#### 事務局

(資料 2、3 について説明)

#### 会長

何かご意見ご質問は、ございますか。

#### 委員

意見への対応については概ね異議はありません。豊中市公共交通改善計画案に対する意見というより、運用する上でのコメントになります。様々な取り組みをする中で、十分な対応をすることが難しくなると思います。そこで、スマート技術、新しい技術を積極的に使って、政策の改善や強化に活かしていただきたい。デマンド交通が入るときに利用者からの属性情報をいただく、需要を集約するなど、効率的な運行が行えるようにしていただきたいと思います。

#### 会長

事務局、いかがでしょうか。

#### 事務局

現在、乗合タクシー「Mina Notte」の予約は、電話受付のみとなっています。こちらは、できれば今後、web 予約もできるように検討しています。web 予約に伴って、今まで取れていなかったデータも見えてくると考えます。データも用いて、より良く、利便性の良いものに変えていこうと思います。

#### 会長

他にご意見、ご質問はありますか。

#### 委員

前回の会議の後、意見を募集した経過の中で、基本方針の中で目指すべき公共交通体系の「日本版ライドシェア」と「自家用有償旅客運送」も積極的に検討すると入れていただいたので、違和感ないと思います。「自家用有償旅客運送」も「日本版ライドシェア」も丁寧に見たいという項目があり、一点目は担い手についてお聞きしたいのですが、第二種運転免許のドライバーはどこにでもいるわけではなく、それを裏返すと人件費をどれだけかけられるかにも返ってきます。タクシーでも同様であり、どんな方を、どれくらいの人件費で、どれくらいのコストで確保できるかは、「日本版ライドシェア」と「自家用有償旅客運送」がポイントになってくると思います。

もう一点は、利用する方が受容できるか。プロのドライバーさんと少し違った位置取りというか、ボランティアのような緩やかな管理をされた、間の時間に働くというような方に、プライベートな個別輸送をするような乗り物になる可能性もあるかと思います。やり方の問題かもしれないが、担い手の確保と利用者の受容度があると踏まえて、選択肢のひとつにするのが良いのではないのでしょうか。

#### 会長

事務局、いかがでしょうか。

## 事務局

おっしゃる通りだと思います。基本的に豊中市で対象とするものというところではありますが、必要に応じて、検討したいと考えています。担い手と機運が高まっていないとできないことや持続性の問題もあります。必要性に応じて、交通モードに関しては検討していきます。

## 会長

他にご意見はありますか。

## 委員

資料2の2ページ。「取り組むべき施策 ⑨持続可能な公共交通サービスへの取組み」で自動運転バスの実証実験について触れられていますが、「事業者主導のもと、検討を進める必要があると考えます。」と記載があります。自動運転の実証実験となると、なかなか事業者主導というのは厳しいものがあります。現在、国土交通省において、自動運転に係る補助メニュー（自動運転社会実装推進事業）を作っていただいています。自治体が主導的に地域の同意を得て、協議会の決定の中でやっていく仕組みがあらうかと思います。この書きぶりだと、豊中市のどこで実験するかという案はありませんが、もし考えるとなるとこの記載だと実験を行いつらくなるかと思います。

## 事務局

公共交通の担い手としては、もちろん事業者に頑張ってもらっていますが、自治体も主体となって務める立場にあるので、協働して務めていくという記載に変えさせていただきます。

## 委員

大阪市では自動運転バスなど、万博に合わせて色々と挑戦されているようですが、豊中市としても、大阪市や大阪府のノウハウを情報共有する取り組みはされているのでしょうか。それとも今後、情報共有して何等かの実験をしたいなどの気力があるなら教えて頂けますか。

## 会長

まず、私からお答えしたいと思います。もし、間違っていたら補足をお願いします。自動運転は、大阪府の新モビリティ導入検討協議会のほうで、府が主体でされています。委員、コメントをいただけますか。

## 委員

先導的モデル事業として南河内地域において、万博の自動運転バスの活用に向けた検討を進めています。実証実験の実施は、万博が終わった後の話なので、中身の検討をしているところです。それをモデルとして、他の市町村で知見を活かした形で何かできるものがないか検討していく予定です。将来的には、豊中市も含めて他の市町村にも共有していきます。

## 会長

今、話があったように、自動運転は、日本全国で99件ほど実験に入っています。珍しいものという認識から、少しずつ技術確証していき、いわゆる社会的受容を求めていく段階となっています。豊中市ではただ高いレベルの自動運転を入れるのではなく、地域の現状を反映して、活かせるものを入れることが必要で、

戦略的に考える必要があります。焦らず情報を得ながら、豊中市に合うものを考えていただければと思います。

## 委員

交通支援検討地域について。資料3の68ページの図において、点在する形で表示されています。今後、この地域それぞれで、地域に合ったものを別々に検討していくのか。交通支援検討地域で行われることを想定して、それをその地域に当てはめるのか。今後の進め方をお答えいただけますか。

## 事務局

豊中市では、基本的には公共交通を導入するにあたり、持続性を一番に考えています。規模の小さいものから大きいものへという形で導入すること前提としています。現在運行している乗合タクシー「Mina Notte」を基本として、地元の方と話をしながら、実際にそれが地域に合うのか、違うものが良いのか、優先順位をつけた中でそのままいくのか、違うものを導入するのか決めていきたいと考えています。乗合タクシー「Mina Notte」が地域に合わないということであれば、適した交通モードを選択すべきであり、市の独断で地域に入れることは考えておりません。

## 会長

他になにかご意見はありますか。

## 委員

資料2の1ページ、「阪急バス間での乗継ですが、例えば、現在有る経路検索のスマホアプリケーションのように出発駅と到着駅を入力すると、どこで乗り換えて、バスの接続時間が検索できるアプリケーションがあれば良いと思う。また、地図からバス停の名前が分かると良い」と質問し、「各種アプリケーションおよび阪急バスホームページから、阪急バス間の乗継の乗換案内、所要時間の検索が可能です。また、地図上でのバス停の名称表示につきましては、Google Mapでバス停名の反映がされています。」と記載があったので、阪急バスのホームページから見たが、どのように検索すればよいのか、分かりませんでした。私たちのような高齢者で、スムーズに見ることができる人はいるのかなと思いました。私の感覚とすると、電車に乗る時、電車が出発駅、経由地、到着駅を入れたら到着時間や乗換駅など、くわしく載っていて、それを想定していましたが、阪急バスではそれが無いのでしょうか。

## 会長

阪急バスの経路検索は、阪急バスのホームページにおいて、できるようにはなっています。委員からフォローいただけますか。

## 委員

阪急バスの経路検索について、経路検索の方法をまとめた資料がございますので、後ほど、説明させていただきます。

## 会長

色々なサービスがあって、分かりにくいところもあり、しかも難しいのは民間事業者のサービスで、それ

どれ好みがあるので、どれを勧めたら良いのか難しい所もあり、今回のような個別対応となります。他に何かありますか。

## 委員

資料2の1ページ。95ページの「③民間バス路線との競合の回避」を「③既存の公共交通の補完」と記述を修正していただいたのは理解しました。昨日、家の近所を散歩していた時に、高齢者がおられたので乗合タクシー「Mina Notte」を知っているか、利用しているか聞いてみました。名前の知名度はあるようですが、乗るほどでもない、マップの中に行きたいところがないという回答でした。今の私どものエリアである南部地域は、庄内コラボセンターへ行く人は多いかもしれませんが、特に行きたい場所がありません。魅力のあるサービスにするのであれば、停留所に大型スーパーマーケットや病院を入れることにより利用者は増加すると考えます。それをしない理由があるのなら、行政機関か阪急タクシーにお伺いしたいです。

## 会長

阪急庄内駅やコラボセンターには、乗り入れるようなルートにはなっていますが、例えばイオンタウン(庄内西町5丁目)に乗り入れて欲しいということでしょうか。

## 委員

南部地域で大きなスーパーマーケットはライフ庄内店(庄内栄町5丁目)や関西スーパー豊中南店(大黒町1丁目)です。あの道路(府道庄本牛立線)は、阪急バスの路線になっているので、競合を避けるためにあえて外したとは思いますが、利用頻度を考えて、乗合タクシー「Mina Notte」と路線バスが同じルートを走っていても構わないのではないかと思います。

## 会長

路線バスと大きく被らないように考慮している点はあるかと思いますが、事務局、いかがでしょうか。

## 事務局

おっしゃる通り、まず既存の公共交通と重複しないことが前提でルートを決めています。ただし、同じスタート地点、同じ目的地でなければ、一定、同じ利用方法とはならないので、阪急バスとも話をさせていただきながら、導入の検討はさせていただきたいと思います。実際、南部地域では、上田病院が昨年に移転(※庄内幸町4丁目から稲津町1丁目へ移転)されたのですが、その際に停留所設置について、同意を頂いたので、上田病院の敷地内に停留所を設置させていただき、今年の4月から乗り入れさせていただくことになりました。今後も地域の施設からの許可が出れば、利用しやすい形で柔軟に停留所を設置していきたいと考えています。委員のおっしゃるように、利用者が伸びるといってお声をたくさん頂けるのであれば、その他の場所での停留所設置についても検討していきます。今後、計画は改定していくので、交通支援検討地域を前提に設置を考えていきたいと思っています。

## 委員

先ほどとよく似た質問になるのですが、設定されている路線は、基本的には停留所で乗り降りすることになっています。実際に町の病院に行きたいときにピンポイントでその病院に停まる便というのはあまりなく、病院の前を通り過ぎることが多く、停留所から病院まで徒歩で戻らなくてはならなくなります。大きなバス

であれば、あちこちに停めることはできないですが、タクシー型の車両であれば、多少融通性はあると思います。駅についても、現在は豊中市のエリアにある駅に限定していますが、例えば豊中市のエリアから少し外れるが市民がよく使う駅、例えば神崎川駅や園田駅、桜井駅などは乗り入れできるようにすれば、ユーザーは絶対に増えると思います。こういった障害を取り除かないと実現できないのか、行政サイドから教えていただけますか。

## 会長

東西軸路線バスの時も、乗合タクシー「Mina Notte」の時も、阪急園田駅まで運行してほしいという議論は出ました。そこへ行く分で、交通が不便なところに回る頻度が増やせるということで、今のルート設定となった経緯があります。阪急園田駅だと豊中市外になりますが、基本的には豊中市内の交通ご不便なところをカバーする方向で考えています。事務局、いかがでしょうか。

## 事務局

先ほどのスーパーマーケット等々と同様になりますが、スーパーマーケットの敷地に停留所を置くとなると、スーパーマーケットの許可が必要で、豊中市外に出るのであれば、豊中市単体の判断では、設置ができないので、近隣の各市と一緒にあって、設置していくこととなります。その必要性があるとなれば、各近隣市にお声がけしながら、設置の可否は検討する必要があると考えます。

## 委員

検討は継続的にするということで了承しました。

## 会長

他にご意見、ご質問ありますか。

## 事務局

先ほど、委員から頂いた一部修正がございますので、会長と阪急バスのご意見を伺って、修正する形で各委員に同意いただければと思います。よろしく願いいたします。

## 事務局

先ほど、委員からいただいた、タクシー型の車両なら、病院などの前の道に停車できるのではないかとというご質問に回答もれがございました。車両は確かにタクシー型ですが、乗合タクシー「Mina Notte」の運行形態はバスと同じなので、停留所で停車する必要がありますので、ご了承いただきたいと思います。

## 会長

それでは、資料3の豊中市公共交通改善計画（素案）をパブリックコメント案として、答申してよろしいでしょうか。

（異議なし）

## 会長

それでは、豊中市地域公共交通協議会より、資料3 豊中市公共交通改善計画（素案）をパブリックコメント案として豊中市長宛て答申します。

答申を受けた素案を11月20日（水）から12月10日（火）の間において、パブリックコメントを実施します。

パブリックコメントにおいて、受けた意見について次回協議会で報告し、計画の策定を行う予定としています。

## 2. シェアサイクル事業の実施状況について

### 事務局

（資料に4について説明）

## 会長

何かご意見ご質問は、ございますか。

## 委員

見落としているかもしれませんが、利用されている方の年齢層についてのデータは記載がありましたか。

以前来た時に、運転免許を返納した高齢者の自転車利用を促進したいとお聞きしていたので、利用されているのか気になりました。私は道が狭く怖いので利用できないのですが。スタンプラリーのアプリケーションについては挑戦してみようと思いますが、チェックポイント地点について、安全面は考慮しておられるのでしょうか。

### 事務局

豊中市では、自転車で動いてもらうことを「散走」という名前をつけて、事業を展開していますが、これまで散走モデルプランを作成して、ご提案させていただいています。スタンプラリーの場所においても、危険な場所は設定しておりませんので、安心して施設も見えていただければと思います。

## 会長

自転車利用の年齢層については、若年層が利用しているように見受けられますが、いかがでしょうか。

### 事務局

令和4年の6月の実績としましては、20代が約20%、30代も約20%、40代も約30%、50代は約18%、60代は約4%、70代以上は約0%となっております。利用目的としては、通勤が多く、次が買い物となっております。

## 3. 公共交通利用促進に係る取組みについて

### 事務局

（資料に5について説明）

## 会長

何かご意見ご質問は、ございますか。

## 委員

非常に素晴らしい取り組みだと思います。一方で今朝、豊中市の環境審議会で、環境目標みどり率（環境審議会では共有する環境目標 みどり率 27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす）の達成が難しいという話もございましたので、公共の空間においてみどりを入れることで、利用環境が改善されることがあれば、模索していただければと思います。

## 会長

ありがとうございます。事業者の取り組みについて、阪急バスのイベントの反響等は、いかがでしょうか。

## 委員

夏休み限定の「夏休み子ども定期券」を発売期間及び有効期間がともに令和6年（2024年）7月20日（土）～8月31日（土）まで、有効区間が阪急バス全線、乗車券の種類が紙式の小児全線定期券、発売額は1,000円で発売いたしました。発売場所は5箇所、豊中市の最寄りでは千里中央案内所、桃山台案内所で販売しています。昨年は200枚が完売したので、発売枚数は400枚限定とさせていただいたが、販売総数は270枚で、結果多く売れ残ってしまいました。最もよく売れた販売所が千里中央案内所で、お買い求めいただいたのは豊中市の方が多く、36%を占めました。定期券の通用期間と販売期間が同じでしたので、今回の反省を踏まえ、もし来年も販売するなら、もう少し販売期間を早めるべきだと検討しているところです。

令和6年（2024年）7月20日（土）～8月31日（土）に開催した「バス停フォトラリー！」は、春に開催したときよりも、難易度を下げたつもりだったのですが、こちらも思ったほどのご利用がなく、応募数が143件でした。今年の夏休みは猛暑となったこと事が災いとなった所、もう少し手軽に楽しんでもらえるような内容にするべきだったと検討材料を残した結果となりました。

## 会長

他になにかございますか。

## 委員

細かなことですが、豊中市で猛暑対策をしたということですが、一方で、今議論していた乗合タクシー「Mina Notte」の停留所は、道沿いの椅子も日よけもない所に設置されていることが多いです。これから日よけなど付けていくのは、コスト的にも難しいことは理解していますが、だからこそ停留所は道路にぽつんと置くのではなく、病院やスーパーに設置してもらうことによって、高齢者にとって乗合タクシー「Mina Notte」が使いやすいものになると思います。

## 会長

事務局には、これからも民間の施設と交渉していただいて、設置できる場所をご検討いただければと思います。

#### 4. 今後のスケジュールについて

##### 事務局

(資料に6について説明)

##### 会長

何かご意見ご質問は、ございますか。今までの案件の中から戻っていただいても結構です。

##### 委員

シェアサイクルの話で、2点、わかればお伺いしたいのですが、

令和4～6年と月ごとをみても1.5倍ずつ利用者が増加しており、ポートが増加している等、要因や推測できる背景など、わかれば教えていただけますか。

ポート別の利用回数について、貸し出しと返却の回数がほとんど同じで、多くの方が同じ場所に返却している形だと思いますが、大規模団地に置いていると目的地に行ってまた戻ってきているのか、どんな利用シーンが思い浮かべられるのか、気付かれたことがあれば教えていただきたいです。私も一度、豊中市内で利用した際に、違う所で借りて違う所に返すという動きで、効率的に鉄道駅に乗り継ぐことができたこともありました。フィットしているのは、同じ所に返すという動きかと思えます。そのあたりをお伺いしたいです。

##### 会長

ポート数は本格運行以降、横ばいですので、利用者が増えてきたのは、普及してきたという所でしょうか。確か、吹田市でのシェアサイクル(豊中市と同じHELLO CYCLING)の利用実績も増えていたと思います。利用の所は、5ページ「2.8 経路別利用回数」で、豊中市内で一番多いのは「北急緑地公園駅西～服部緑地西口」間で、何等か施設にラストワンマイルに利用されているのが一番多かったと思います。市外を「市外」という表記で複数項をまとめているので、傾向は読みにくいのですが、豊中市内ではラストワンマイルとして利用されていると思います。事務局、いかがでしょうか。

##### 事務局

利用者の増加については、委員のおっしゃっていたように、ポート数が増加したこともあるかと思えます。私も豊中市内で移動することもありますので、シェアサイクル自体を見るのがかなり増えてきたと感じています。私が担当しているからかもしれませんが、目につく機会が増えれば、広告効果があるのかなど。より露出が増えれば、利用者が増えるということで、順調に推移しているのだと思います。大規模団地という所は、人がたくさん住んでおられ、面的に広がるよりも、立体的に人がたくさんいらっしゃいますので、ポートに近い方が、その分多いので利用者数が多いと考えます。現在、「2.8 経路別利用回数」で市内のポートから市外のポート利用を市外のひとくくりにした表記としていますが、傾向を読みにくいいため、今後変更しようと思えます。

##### 委員

あと私に関心を持ったのは、先ほど委員がおっしゃっていた、高齢者の立場で道が狭いこと、運転免許返納もひとつの狙いとして、実績も60歳代の利用が数パーセントというところもあって。私もシェアサイクルに乗るとき、サドルを上げ下げするのが荷物を置いて、手で力を入れて回す作業が大変なので、乗りやす

いサドルの位置を固定してとか、同じ自転車をたくさん並べるのはいいのですが、1～2台は乗降しやすいものにするとか。それをこのポートだったらしやすいかもしれないとか、こういう移動ニーズが多く想定される。高齢者が使いやすい場面が多くありそうだとか、解像度を高めた局所的な施策も並行して行っても良い時期に差し掛かっていると感じて、そういった全体像を伺いたかった次第です。同じポートに返す方が多いという所もそういう意味で検討できるのではないのでしょうか。

## 会長

きめ細やかな事業展開を進めていっていただきたいと思います。事務局、他に言い忘れなどございませんか。

## 委員

シェアサイクルについて、質問があります。

1 ページのサイクルポートの地図ですが、豊中の北中部地域は、ポートがほとんどないと思うのですが、それは住民のニーズがないのか、他の理由があるのでしょうか。

ポート設置については、業者任せなのか、市が関与しているのか。また、シェアサイクル事業は、運営事業者である HELLO CYCLING に対して、市の支出があるのか、教えていただけますか。

## 事務局

豊中市の北中部地域におけるポートは、ニーズがないわけではなく、もともと市城南側から始めたので、南部地域にはポートが充実しています。現在、市域北側にも増やす方向で動いております。

ポート設置については、事業者で設置しているものと、市で設置を検討しているポートがふたつ分かれています。民間の敷地については、基本的には事業者で選定して、直接話していただいております。市の道路、公園、市有施設に関しては、市が管理者に話をさせていただいて、許可が出た所に設置をしています。費用負担については、事業者に負担していただいております、市では負担しておりません。

## 会長

他に何かご意見ございますか。事務局、他に言い忘れなどございませんか。

## 事務局

大丈夫です。

## 会長

多岐にわたるご意見、ありがとうございます。先ほどのスケジュールにもありましたように、次回はパブリックコメントが終わりまして、2月に協議会が開催される予定です。事務局にお返しします。

## ●閉会

### 事務局

以上をもちまして、第17回豊中市地域公共交通協議会を閉会します。

以上